

平成19年4月6日

各 位

埼玉県さいたま市大宮区大成町一丁目246番地
メディカル・ケア・サービス株式会社
代表取締役社長 山中 一 範
(コード番号2494 名証セントレックス)
問合せ先： 取締役財務部長 石塚 明
電話番号： 048-651-6700 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年10月16日に公表した平成19年8月期中間(平成18年9月1日～平成19年2月28日)及び通期(平成18年9月1日～平成19年8月31日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成19年8月期中間業績予想の修正(平成18年9月1日～平成19年2月28日)

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	3,756	149	117
今回修正予想(B)	3,656	△18	△27
増減額(B-A)	△100	△167	△144
増減率	△2.7%	—	—
前期実績(平成18年8月期中間)	2,345	66	96

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	1,866	127	100
今回修正予想(B)	1,756	△39	△47
増減額(B-A)	△110	△166	△147
増減率	△5.9%	—	—
前期実績(平成18年8月期中間)	1,274	26	82

2. 平成19年8月期通期業績予想の修正（平成18年9月1日～平成19年8月31日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,134	436	259
今回修正予想 (B)	8,224	320	249
増減額 (B - A)	90	△116	△10
増減率	1.1%	△26.6%	△3.9%
前期実績 (平成18年8月期)	5,452	253	185

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,168	282	158
今回修正予想 (B)	4,201	176	156
増減額 (B - A)	33	△106	△2
増減率	0.8%	△37.6%	△1.3%
前期実績 (平成18年8月期)	3,044	136	134

3. 業績修正の理由

(1) 平成19年8月期中間

(連結)

売上高につきましては、前期（平成18年4月）に開設しました介護付有料老人ホーム「アンサンブル大宮」の入居水準が周辺施設における一時金0円プランの導入等による影響により、今期に入って伸び悩み、利用料収入及び介護報酬が未達となりました。

経常利益及び中間純利益につきましては、売上未達に加えて、「アンサンブル大宮」の入居募集広告費用の超過及び介護スタッフの採用費用の超過、前期末東海地区で運営受託した20棟（内、2棟は当期中に開所）の運営統合作業に関する出張旅費や事務所費用が超過したこと、今後介護業界において懸念される人材不足を踏まえて平成18年12月に新規設立しました人材紹介・派遣会社「株式会社SORA」の開業費用が発生したことにより前回発表予想を下回ることとなりました。

(単体)

売上高及び経常利益、中間純利益の業績修正の理由につきましても、連結と同様であります。

(2) 平成19年8月期通期

(連結)

売上高につきましては、中間期において未達となっておりますが、未達要因となりました「アンサンブル大宮」の入居水準が徐々に向上してきていること、高齢者施設の不動産売上が契約されており下期において実現する見込みであることから当初予算を上回る見込みであります。

経常利益及び当期純利益につきましては、売上高向上に伴う売上総利益の改善に加えて、中間期の超過要因でありました採用費用も従業員が充足してきていること、運営統合作業に関する費用につきましてもほぼ完了しつつあることから収束し、収益改善できる見込みであります。

(単体)

売上高及び経常利益、当期純利益の業績修正の理由につきましても、連結と同様であります。

4. 今後の対応について

「アンサンブル大宮」については一時金0円プランを導入することにより、稼働率の向上に努めるとともに、運営施設の増加を積極的に実施し、事業規模の拡大を目指していきます。

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な数値に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なることがあります。

以上